

# 国際交流のかけはし アジアの留学生が来町

8月22日から31日までの10日間、町国際交流協議会（佐藤茂会長）の主催による『第6回南ふらの国際交流のかけはし』が行われ、東京と神奈川の日本語学校や大阪の大学院に在籍する3カ国4名の留学生が、協議会員4世帯にホームステイしながら南富良野の生活や文化に触れました。

留学生の国籍は、台湾、タイ、香港で、滞在中に交流パーティーや学校訪問、自然体験などを通して町民との交流も深めました。

この事業は、(財)北海道国際交流センターの協力で留学生を招き、北海道の大自然や生活習慣、文化を学び、町民との交流から互いに国際理解と友好を深めようという行われているものです。

## 今回来町された留学生の皆さん

- リン・キンヨウさん  
国籍：台湾  
所属大学：JET日本語学校  
ホストファミリー：岩永廣一郎宅(北落合)
- モンタノン・シリラックさん  
国籍：タイ  
所属大学：大阪大学大学院  
ホストファミリー：小林豊光宅(落合)
- ウォン・カマンさん  
国籍：香港  
所属大学：東京国際大学附属日本語学校  
ホストファミリー：佐藤茂宅(幾寅)
- ゴ・カエイさん  
国籍：台湾  
所属大学：JET日本語学校  
ホストファミリー：長谷川英夫宅(下金山)

町長表敬訪問・施設見学  
8月24日、池部町長を訪問した留学生は、北海道や南富良野の大自然についての感想や、母国の話などで池部町長と懇談しました。

引き続き行われた町内施設見学では、雲ひとつない晴天に恵まれ、落合岳の頂上から景色を眺めたあと、町内を一周して、街並みや各施設を見学しました。留学生の皆さんは、改めて本町の大自然に感激したようで、行く先々でカメラを手に撮影していました。



ラフティング体験

8月26日、本町の大自然を満喫してもらおうと、ラフティングが行われました。当日はあいにくの雨となりましたが、スエットスーツに身を包み、不安そうなお表情で、ガイドからパドルの操作などを教わった後、ラフトボート

に乗り込み空知川の激流に挑みました。留学生は初めての体験でしたが、爽やかな笑顔で、南富良野に来たときにもまた体験したいと話していました。



学校訪問

8月29日、留学生による学校訪問が行われ、それぞれ滞在する地区の小学校を訪問し、歓迎会やスポーツ、書写などの授業をとおして、児童と楽しく交流を深めました。



ホストファミリーとの対面  
8月22日、4名の留学生が来町し、受入先のホストファミリーとの対面式が役場で行われ、長旅の疲れも見せず笑顔で会場に入場した留学生の皆さんは、ホストファミリーのお父さんお母さんと初対面し、固い握手を交わして、10日間に渡る南富良野町での生活のスタートをきりました。



さよならパーティー  
8月30日、各ホストファミリーが集まってさよならパーティーが行われました。



パーティーでは、それぞれの国の料理をファミリーと一緒に作って持ち寄り、その料理を囲んで行われ、各家庭から滞在中に練習した歌や踊りなどが披露され、大変盛り上がりました。また、留学生から滞在中の感想やお礼を述べ、最後に参加者全員で国際交流の歌を歌って、残り少ない南富良野での生活やお父さんお母さんとの別れを惜しんでいました。



ウェルカムパーティー

8月23日、来賓や町民が参加して、「ウェルカム町国際交流パーティー」が総合福祉センターで行われ、主催者や来賓の挨拶の後、ステージ上がった留学生は、照れくさそうにしながら、1人ずつ日本語で自己紹介や参加した抱負などを述べました。

パーティーには、本町出身の歌手石上久美子さんも参加し、留学生といっしょに「ソーラン節」を歌ったり、石上さんの歌に合わせて参加者全員で盆踊りを行うなど、賑やかな歓迎パーティーとなりました。



見送り式

8月31日、総合福祉センター前で見送り式が行われ、佐藤会長から、留学生へ激励の言葉が送られた後、留学生から10日間一緒に生活した家族に、お礼とお別れのあいさつが述べられ、涙をこらえて笑顔で南富良野をあとにしました。

